

がんのリハビリテーションは、がんの治療（手術・化学療法・放射線療法など）の前後に、今ある能力を維持・向上させる医療です。がんそのものによる痛みやだるさ、治療による副作用などにより、治療中や治療後に、半数以上の方が筋力低下を自覚すると言われています。がんの診断後も、日常生活を維持し、本人が望むその人らしい生活を送れるよう、主治医と相談しながらリハビリテーションを行うことが勧められます。当院では、専門の知識をもったリハビリテーションのスタッフが、患者さんに合わせた運動を提案します。時には一緒に運動を行い、退院後も運動の継続が可能なように、わかりやすくアドバイスができるよう努めています。さらに、自宅で安全に過ごすための動作練習や道具の提案をさせていただいています。ご自宅生活では、徐々に家庭での役割を再開することや、趣味活動の開始・再開によって活気を取り戻し、活動量の維持や増加につながるといわれています。日常生活の一部に運動を取り入れ、療養生活の質の維持・向上を図りましょう。

リハビリテーション科 勝山 英恵